

事業名	10210301 財政管理事務	所管課	総務部 経営政策課	事業年度	令和4年度	事業区分			—
		根拠法令	地方財政法、粕屋町財務規則	予算科目	会計	款	項	目	財政管理費
		行政計画	なし		一般会計	2	1	3	
基本目標	4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち	政策	2 健全な財政運営のまちづくり	施策	(1) 持続可能な財政基盤の強化				

1. 事務事業の取組方向

<p>前期基本計画の主な取組と成果</p> <p>○社会保障関連経費や公共施設の老朽化による改修費などの支出が増加し、財源の確保に苦慮する中、限られた財源を効率的に配分するため、平成29年度から枠配分方式の予算編成を導入した。しかしながら、人口増に伴う必要経費の増加などから、枠配分方式では限界があったため、令和元年度から積上方式の予算編成に戻し、全庁的な視点で財源調整を行うことで適正な予算配分を行い、財源不足補てんのための基金取崩しを最小限に抑えるよう努めた。</p> <p>○町民の皆さまに町の財政に関心を持ってもらうため、予算編成方針や査定状況をホームページに掲載するなど、情報公開を推進した。</p>	<p>後期基本計画のまちづくりの課題と展望</p> <p>○今後も社会保障関連経費は増加し、また、施設個別計画に沿った改修が予定されるとともに近年頻発する自然災害への対策が必要となるなど、歳出の増加が見込まれている。一方で、それらの財政需要に見合った一般財源の伸びは期待できず、厳しい財政状況となることが予想される。</p>	<p>後期基本計画における事務事業の取組方向</p> <p>○事務事業の必要性の再検討による見直しに加え、重点事業などへの適正な財源配分を行うとともに新たな財源の確保に努める。また、長期的な視点に立った計画的な財政運営を行うことで財政需要の平準化を図り、持続可能な財政基盤を確立する。</p> <p>○わかりやすい財政状況の提供に努める。</p>
--	---	--

2. 実施計画(PCDAサイクル)

<p>計画(Plan)</p> <p>事業目的</p> <p>○財源の適正配分や新たな財源の確保を進めるとともに、計画的な財政運営を行うことで財政需要の平準化を図り、持続可能な財政基盤を確立することを目的として財政管理事務を行う。</p>	<p>計画(Plan)</p> <p>実施方法</p> <p>○令和4年度予算編成時において、査定の強化により、歳出抑制及び歳入確保対策を図り、見込まれる財源不足の解消に努める。財政運営では、計画的な基金の活用を検討、起債償還年数の見直しの検討などにより実質公債費比率の上昇を抑制する。</p> <p>○財政状況の情報公開を進めるため、令和3年度に作成した中期財政見通しの時点修正を行い、ホームページで公表する。</p>	<p>実施(Do)</p> <p>事業費(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3決算額</th> <th>R4決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>1,823</td> <td>2,073</td> </tr> <tr> <td>歳入 (特定財源)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R3決算額	R4決算額	歳出	1,823	2,073	歳入 (特定財源)	0	0
年度	R3決算額	R4決算額									
歳出	1,823	2,073									
歳入 (特定財源)	0	0									
<p>実施(Do)</p> <p>実施結果</p> <p>○コロナや物価高騰対策事業の実施などにより6回の補正予算を編成した。</p> <p>○昨年度に引き続き積極型の予算を編成したが、財政調整基金の繰入れを抑制し、投資と財政規律の両方を実現した。</p> <p>○今後の財政収支の見通しを明らかにし、将来的に持続可能な財政基盤の確率を図るための中期財政見直し(令和4年度ローリング版)を作成した。</p>	<p>評価(Check)</p> <p>課題</p> <p>○学校施設の増築・大規模改造や老朽化施設の改修工事が本格化し、その財源として町債の残高が増加し公債費の増加は避けられない見通しである。</p> <p>○地方交付税(臨時債を含む)など依存財源は減少傾向にあり、今後も自主財源の確保に努める必要がある。</p>	<p>改善(Action)</p> <p>改善方法</p> <p>○一時的な財政状況の悪化はやむを得ないものとする。策定した中期財政見直しは時点修正を行い、歳入の状況に見合った事業の実施や平準化を図ることなどで、財政の悪化を最小限に止める必要がある。</p>									

3. 事業フロー(ロジックモデル)

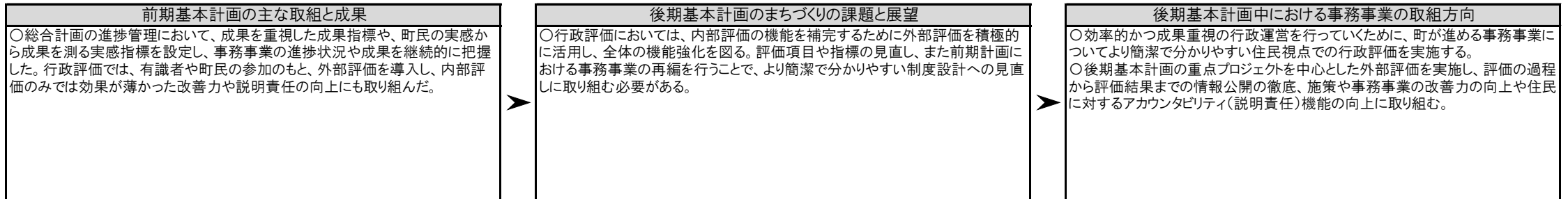
<p>①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)</p> <p>○町の財政運営に関する事務(予算編成及び執行、地方債の管理、財務書類の作成など)</p> <p>○広報やホームページでの決算情報や財務書類の掲載など情報公開の推進</p>	<p>②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)</p> <p>○限られた財源の中で基金の取崩しに依存せず、重点事業への効果的な財源配分が可能となる。</p> <p>○町の財政状況をわかりやすく提供することで、町の財政に関心を持ってもらうことができる。</p>	<p>③アウトカム(町としてどうなるのか)</p> <p>○計画的な財政運営により、将来にわたる安定した行政サービスの提供や持続可能な財政基盤の強化が図られる。</p>
---	---	---

活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
単位:	目標値	—		
	実績値			—
	達成率	—		—
単位:	目標値	—		
	実績値			—
	達成率	—		—

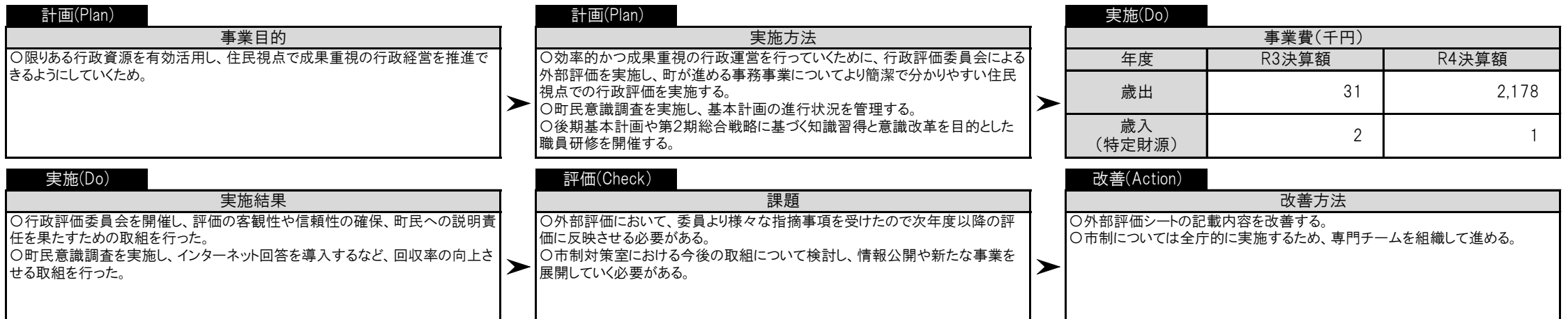
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
[施策] 財力指数	目標値		0.90	0.93
	実績値	0.88	0.86	
	達成率			
[施策] 実質公債費比率	目標値		9.0	10.5
	実績値	11.0	8.1	
	達成率			

事業名	10210601 行政経営推進事業	所管課	総務部 経営政策課	事業年度	令和4年度	事業区分			—
		根拠法令	粕屋町行政評価実施規程	予算科目	会計	款	項	目	行政経営費
		行政計画	第5次粕屋町総合計画		一般会計	2	1	6	
基本目標	4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち	政策	1 町民のための行政経営のまちづくり	施策	(2) 簡素で合理的な行政運営の強化				

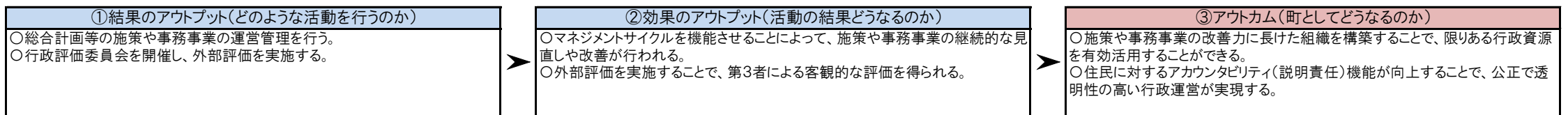
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)

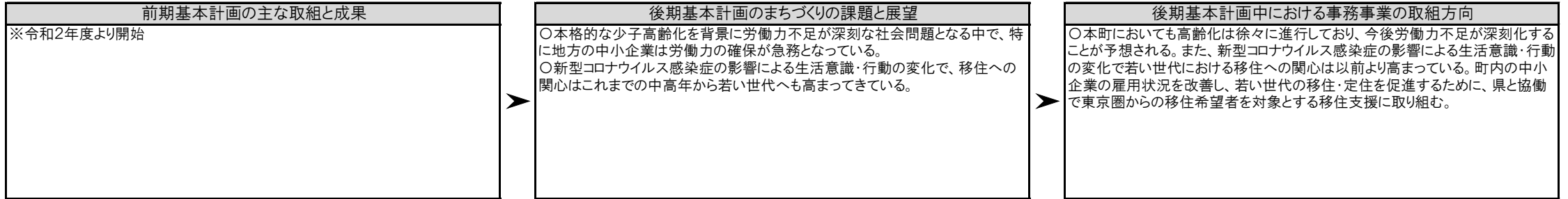


活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
事務事業評価(内部評価)実施率	目標値		100	100
	実績値	100	100	
	達成率			
単位: %				
行政評価委員会(外部評価)延べ実施回数	目標値		4	12
	実績値	7	4	
	達成率		100.0%	0.0%
単位: 回				

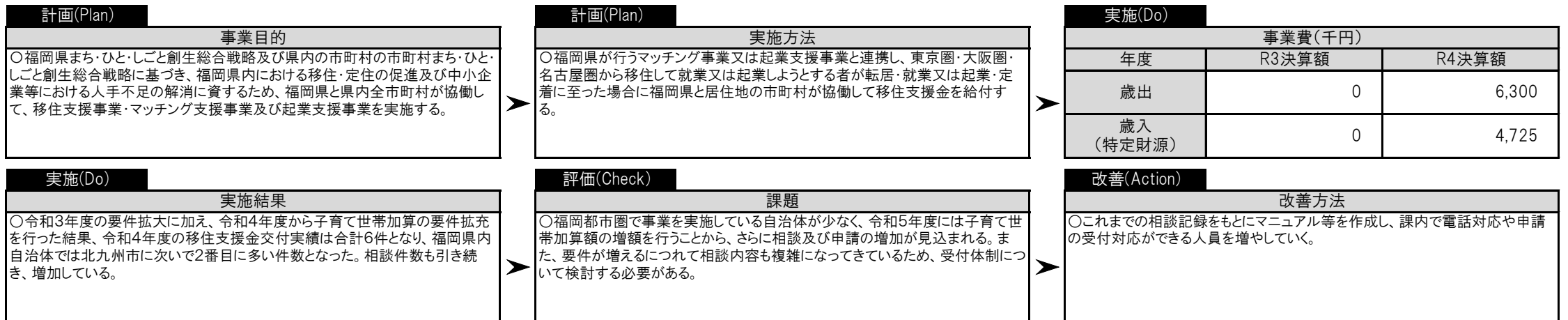
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
	目標値			
	実績値			
	達成率			
単位:				
	目標値			
	実績値			
	達成率			
単位:				

事業名	10210603 移住支援事業	所管課	総務部 経営政策課	事業年度	令和4年度	事業区分			—
		根拠法令	粕屋町移住支援金交付要綱	予算科目	会計	款	項	目	行政経営費
		行政計画	第2期粕屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略		一般会計	2	1	6	
基本目標	1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち	政策	1 地域のつながりを大切にしまちづくり	施策	(2) 人と地域が輝くまちづくり活動の推進				

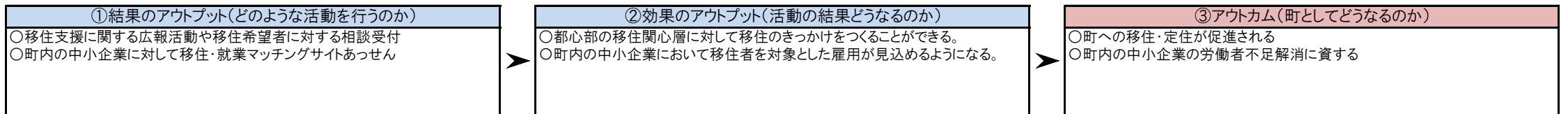
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)



活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
移住支援に関する相談件数	目標値		10	10
	実績値	0	49	
	達成率		490.0%	0.0%
単位: 件/年				
町内中小企業のマッチングサイト延べ掲載数	目標値		4	10
	実績値	1	2	
	達成率		50.0%	0.0%
単位: 件				

成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
[施策]移住支援累計利用者数	目標値		6	12
	実績値	0	6	
	達成率		100.0%	0.0%
単位: 世帯				
	目標値			
	実績値			
	達成率			
単位:				

事業名	10210901 広域連携事業	所管課	総務部 経営政策課		事業年度	令和4年度		事業区分		—
		根拠法令	福岡都市圏広域行政推進協議会規約		予算科目	会計	款	項	目	広域行政費
		行政計画	ふくおか都市圏まちづくりプラン(第6次広域行政計画)			一般会計	2	1	9	
基本目標	4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち	政策	3 広域的な視点に立ったまちづくり		施策	(1) 連携して取り組む広域行政の推進				

1. 事務事業の取組方向

<p>前期基本計画の主な取組と成果</p> <p>○福岡都市圏では広域連携による共同事業として、平成29年度に消防通信指令業務、令和2年度からはNet119 緊急通報システムの共同運用を開始した。また、ラグビーワールドカップ2019 など大規模スポーツイベントの開催に伴う子どもたちを対象とした体験教室や、飲酒運転撲滅事業として、街頭キャンペーンやミニ生命のメッセージ展を開催した。</p> <p>○糟屋中南部地域広域連携プロジェクトでは、かすや地域魅力情報発信プロジェクトとして、地域づくり団体等が実施するかすやのお宝を活かした体験事業やウォーキングイベント、交流農園の入園者支援などを実施した。</p>	<p>後期基本計画のまちづくりの課題と展望</p> <p>○令和3年度から始まるふくおか都市圏まちづくりプラン(第6次広域行政計画)では、これまで進めてきた取組の充実・強化を図るとともに、共生社会、脱炭素・循環型社会など、時代に応じた新たな取組を始める。</p> <p>○入管法改正により新たな在留資格が創設されるなど、外国人受け入れの拡大が進んでおり、福岡県内の在留外国人は増加傾向である。糟屋中南部地域においても同様の傾向であり、今後外国人住民との共生(多文化共生)は重要な課題となってくると考えられる。</p>	<p>後期基本計画における事務事業の取組方向</p> <p>○福岡都市圏の一員として、ふくおか都市圏まちづくりプランに沿った広域連携による効率的で効果的な事業展開を進める。</p> <p>○糟屋中南部地域における外国人住民に関する現状について把握し、同地域における課題や問題点を明らかにし、外国人住民を円滑に地域に受け入れるための調査研究を行いながら、圏域での取組や施策を検討する。</p>
--	---	--

2. 実施計画(PCDAサイクル)

<p>計画(Plan)</p> <p>事業目的</p> <p>○福岡都市圏や糟屋中南部地域の広域連携により、高次で均質な行政サービスや一体的な地域振興、地域に共通する課題の解決を図るため。</p>	<p>計画(Plan)</p> <p>実施方法</p> <p>○ふくおか都市圏まちづくりプランに基づいた取組(世界水泳2022福岡大会を活用したレガシー事業等)を進める。</p> <p>○糟屋中南部地域において外国人との共生に関する調査研究を行う。</p>	<p>実施(Do)</p> <p>事業費(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3決算額</th> <th>R4決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>68</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>歳入(特定財源)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R3決算額	R4決算額	歳出	68	105	歳入(特定財源)	0	0
年度	R3決算額	R4決算額									
歳出	68	105									
歳入(特定財源)	0	0									
<p>実施(Do)</p> <p>実施結果</p> <p>○新規共同事業(キッズジョブチャレンジ)が糸島市で開催し、2,000名弱の子どもが参加した。</p> <p>○世界水泳を活用したレガシー事業の準備を進めた。</p> <p>○糟屋中南部地域広域連携プロジェクト推進会議が解散され、圏域会議に引き継がれた。</p>	<p>評価(Check)</p> <p>課題</p> <p>○キッズジョブチャレンジは協力事業者や開催場所の確保が必要であり、令和6年度における糟屋地区での開催に向けて事前に構成市町にて準備を進める必要がある。</p> <p>○世界水泳を活用したレガシー事業においては観戦を希望する町内の小中学生に周知広報を行う必要がある。</p>	<p>改善(Action)</p> <p>改善方法</p> <p>○令和5年度に開催するキッズジョブチャレンジ(宗像地区)の運営方法等を確認し、糟屋地区の担当者会議において早めの協議を行う。</p> <p>○世界水泳の周知広報は広報・ホームページへの掲載だけでなく、学校教育課と協力しチラシの配布などを行う。</p>									

3. 事業フロー(ロジックモデル)

<p>①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)</p> <p>○福岡都市圏広域行政推進協議会において作成した福岡都市圏広域行政計画に基づく、共同の各事務事業等の実施</p>	<p>②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)</p> <p>○福岡県及び各市町村との連携が強化される。</p> <p>○施設の共同利用等による住民の利便性が向上する</p> <p>○共同実施による効率的で効果的な事業の運営ができる。</p>	<p>③アウトカム(町としてどうなるのか)</p> <p>○広域連携による共同事務の効率化や住民の利便性の向上が図られる。</p>
---	---	--

活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
	目標値			
実績値				
達成率				
単位:				
外国人との共生に関する研究会出席回数	目標値			
	実績値	3	※令和3年度終了	
単位: 回/年	達成率			

成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
	目標値			19
実績値		18	19	
達成率			100.0%	0.0%
単位: 事業				
圏域での多文化共生に関する取組	目標値			
	実績値	0	※令和3年度終了	
単位: 事業	達成率			

事業名	10211001 情報システム管理事業	所管課	総務部 経営政策課		事業年度	令和4年度		事業区分		重点P(持続成長)
		根拠法令	粕屋町情報セキュリティポリシー		予算科目	会計	款	項	目	情報システム管理費
		行政計画	なし			一般会計	2	1	10	
基本目標	4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち	政策	1 町民のための行政経営のまちづくり		施策	(2) 簡素で合理的な行政運営の強化				

1. 事務事業の取組方向

<p>前期基本計画の主な取組と成果</p> <p>○マイナンバーを活用したオンライン情報連携の開始に向けて、複雑・巧妙化するサイバー攻撃や、個人情報や業務情報の漏えいを防ぐため、情報セキュリティ対策の抜本的強化に取り組んだ。</p> <p>○福岡県が設立した「福岡県自治体情報セキュリティ対策協議会」の下で「福岡県情報セキュリティクラウド」を共同運用し、インターネット接続におけるセキュリティ対策を集約・強化した結果、情報セキュリティインシデント(事故が発生する恐れがある事態)発生を未然に防ぐことができたようになった。</p>	<p>後期基本計画のまちづくりの課題と展望</p> <p>○情報公開制度について適正な運用を行うとともに、町が保有する情報をオープンデータ化して公開する取組を進め、さらなる透明性・信頼性の向上を図る必要がある。(法制管理事務、情報システム管理事務)</p> <p>○AI等の先端技術やクラウドサービスの利用、行政手続のオンライン化、働き方改革、サイバー攻撃の増加といった新たな時代の要請を踏まえ、効率性・利便性を向上させたシステムの導入と新たな情報セキュリティ対策が求められる。</p>	<p>後期基本計画における事務事業の取組方向</p> <p>○生産年齢人口減少による労働力の減少を見据え、自治体が持続可能な形で行政サービスを提供し続けるために、セキュリティ等を考慮した上で行政手続の電子化・ペーパーレス化やAI・RPA等のICTの活用を普及促進する。</p>
---	--	---

2. 実施計画(PCDAサイクル)

<p>計画(Plan)</p> <p>事業目的</p> <p>○「町民の利便性と満足度の向上」「簡素で効率的な行政運営」「合理的な投資による効果的なICT活用」を方針とし、行財政運営の最適化に向けて情報通信技術に関する施策及びその業務を効率的に推進するため。</p>	<p>計画(Plan)</p> <p>実施方法</p> <p>○基幹系業務システム運用において情報通信技術を活用することにより、行政サービスの向上、効率的な業務処理、コストの削減を全庁的に取り組む。</p> <p>○情報セキュリティインシデントの発生を防ぐため、情報セキュリティシステムの適正な運用を行うとともに、情報セキュリティポリシーや番号制度等に係る安全管理措置等の遵守を徹底し、個人情報等の適正管理に努める。</p>	<p>実施(Do)</p> <p>事業費(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3決算額</th> <th>R4決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>148,437</td> <td>138,678</td> </tr> <tr> <td>歳入 (特定財源)</td> <td>1,899</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R3決算額	R4決算額	歳出	148,437	138,678	歳入 (特定財源)	1,899	0
年度	R3決算額	R4決算額									
歳出	148,437	138,678									
歳入 (特定財源)	1,899	0									
<p>実施(Do)</p> <p>実施結果</p> <p>○印刷ミスや印刷物取り忘れによる情報漏洩防止のための認証印刷システムを更改した。</p> <p>○粕屋町情報セキュリティポリシーを改定し、WEB会議システム等の外部サービスの取扱いについて規定した。</p>	<p>評価(Check)</p> <p>課題</p> <p>○情報セキュリティポリシーの改定及びインシデント防止のための対策強化を実施する必要がある。</p> <p>○情報セキュリティに関する研修を実施し、職員の情報リテラシー及びスキルを向上させる必要がある。</p>	<p>改善(Action)</p> <p>改善方法</p> <p>○総務省セキュリティポリシーの改定(R5.3版)に準じた情報セキュリティポリシーの改定を行う。</p> <p>○中央保育所建て替えに伴う、広域LAN館接続サービス回線の移設工事を実施する。</p>									

3. 事業フロー(ロジックモデル)

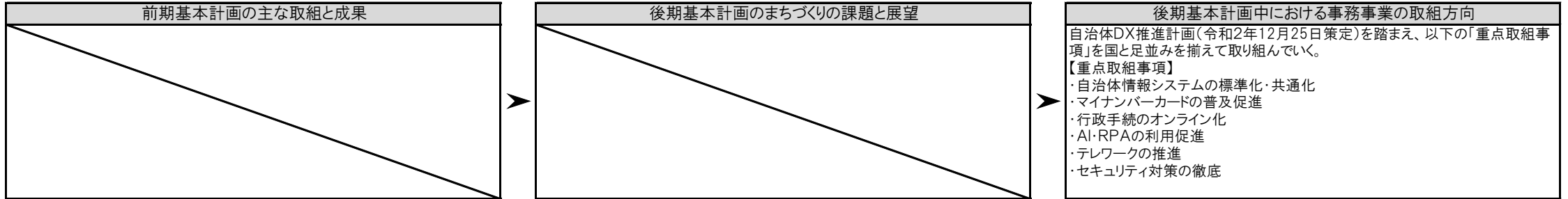
<p>①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)</p> <p>○行政手続の電子化、オープンデータ化を推進する。</p> <p>○職員向け情報セキュリティ研修を実施する。</p>	<p>②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)</p> <p>○電子データで利用可能になることでICTが効果的に活用される。</p> <p>○職員ひとりひとりの情報セキュリティ意識や知識が向上することで人的対策が強化される。</p>	<p>③アウトカム(町としてどうなるのか)</p> <p>○スマート自治体に向けた取組が進む</p> <p>○情報セキュリティインシデントが未然に防止され住民の情報資産が保護される。</p>
---	--	--

活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
オープンデータ登録数	目標値		80	100
	実績値	31	83	
	達成率		103.8%	0.0%
単位: データセット				
職員向け情報セキュリティ研修の実施	目標値		2	2
	実績値	1	2	
	達成率		100.0%	0.0%
単位: 回/年				

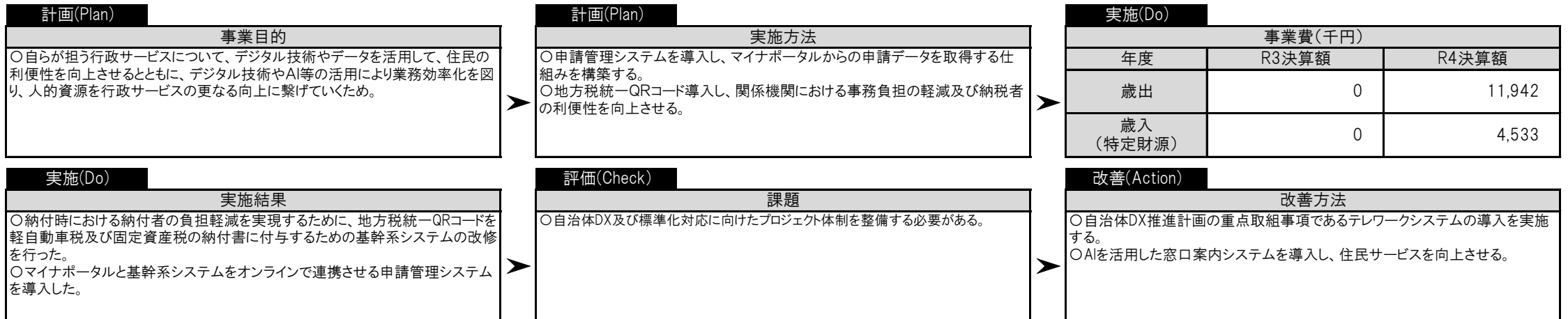
成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
[施策]オープンデータを活用したサービス登録数	目標値		6	12
	実績値	4	4	
	達成率		66.7%	0.0%
単位: 件				
セキュリティインシデント発生件数	目標値		0	0
	実績値	1	0	
	達成率			
単位: 件/年				

事業名	10211004 デジタル化推進事業	所管課	総務部 経営政策課	事業年度	令和4年度	事業区分			—
		根拠法令	デジタル手続法	予算科目	会計	款	項	目	情報システム管理費
		行政計画	自治体DX推進計画		一般会計	2	1	10	
基本目標	4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち	政策	1 町民のための行政経営のまちづくり	施策	(2) 簡素で合理的な行政運営の強化				

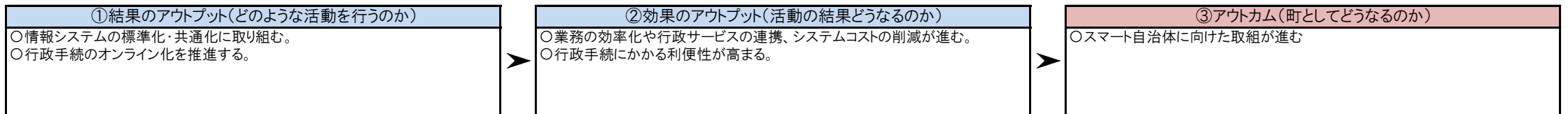
1. 事務事業の取組方向



2. 実施計画(PCDAサイクル)



3. 事業フロー(ロジックモデル)



活動指標(アウトプット)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
行政手続のオンライン化(マイナンバーカード利用手続)	目標値		10	50
	実績値	0	30	
	達成率		300.0%	0.0%
単位: 手続				
活動指標(アウトプット)	目標値			
	実績値			
	達成率			
単位:				

成果指標(アウトカム)	年度	R1年度	R4年度	R7年度(最終)
オンライン申請受付件数	目標値		100	500
	実績値	0	173	
	達成率		173.0%	0.0%
単位: 件				
成果指標(アウトカム)	目標値			
	実績値			
	達成率			
単位:				